

平成 30 年 7 月 31 日
九州電力株式会社

平成 30 年度(平成 31 年 3 月期) 第 1 四半期決算についてお知らせします

平成 30 年度第 1 四半期(平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日)の業績が確定しましたのでお知らせします。詳細は、決算短信及び決算説明資料をご参照ください。

1 平成 30 年度第 1 四半期決算概要

当第 1 四半期の業績につきましては、川内原子力発電所 1、2 号機や石炭火力発電所の定期検査の実施により燃料費や修繕費が一時的に増加したことなどから、赤字となりました。

これらの影響は、4 月に公表した業績予想に既に織り込んでおり、通期の経常増益の予想に変更はありません。(次頁参照)

収入面では、競争の進展に伴う販売電力量の減少などにより電灯電力料が減少しましたが、再エネ特措法交付金が増加したことなどから、売上高は前年同四半期に比べ 2.0%増の 4,662 億円、経常収益は 1.5%増の 4,676 億円となりました。

支出面では、グループ一体となって費用削減に取り組んでいるなか、玄海原子力発電所の発電再開による燃料費の抑制はありましたが、再生可能エネルギー電源からの他社購入電力料が増加したことや、川内原子力発電所や石炭火力発電所の定期検査の実施により燃料費や修繕費が増加したことなどから、経常費用は 9.8%増の 4,781 億円となりました。

以上により、経常損益は 104 億円の損失、親会社株主に帰属する四半期純損益は 91 億円の損失となりました。

当社グループは、引き続き、事業活動全般にわたる徹底した効率化等に、グループ一体となって取り組んでまいります。

連 結

(億円、%)

	当第 1 四半期 (平成30年 4～6 月)	前第 1 四半期 (平成29年 4～6 月)	増	減	増減率
経 常 収 益	4,676	4,606	70		1.5
売上高[再掲]	4,662	4,572	89		2.0
経 常 費 用	4,781	4,352		428	9.8
経 常 損 益	△ 104	253	△	357	—
親会社株主に帰属する 四半期純損益	△ 91	202	△	294	—

個 別

(億円、%)

	当第 1 四半期 (平成30年 4～6 月)	前第 1 四半期 (平成29年 4～6 月)	増	減	増減率
経 常 収 益	4,357	4,287	70		1.6
売上高[再掲]	4,328	4,251	76		1.8
経 常 費 用	4,484	4,062		421	10.4
経 常 損 益	△ 126	224	△	351	—
四半期純損益	△ 92	191	△	283	—

(参考) 主要諸元表

	当第1四半期 (平成30年4～6月)	前第1四半期 (平成29年4～6月)	増 減
販売電力量	166億kWh	177億kWh	△ 10億kWh
原油 CIF 価格	71\$/b	53\$/b	18\$/b
為替レート	109円/\$	111円/\$	△ 2円/\$
原子力[送電端] (設備利用率)	31億kWh 32.7%	39億kWh 40.1%	△ 8億kWh △ 7.4%

2 平成30年度(平成30年4月1日～平成31年3月31日)業績予想及び配当予想

平成30年度の業績予想につきましては、売上高は、販売電力量の減少はありますが、燃料費調整の影響による料金単価の上昇などにより電灯電力料が増加することなどから、前回公表値を上回る2兆100億円程度となる見通しです。

経常利益につきましては、販売電力量の減少や玄海原子力発電所4号機の発電再開の遅延はあるものの、引き続き、事業活動全般にわたる徹底した効率化等にグループ一体となって取り組んでいくことなどから、変更はありません。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましても、変更はありません。

平成30年度の配当予想につきましては、前回公表から変更はなく、当年度の業績や中長期的な収支・財務状況などを総合的に勘案し、普通株式1株につき30円(中間、期末とも15円)としております。

連 結

(億円、%)

	今 回	4月公表	増 減	増減率
売 上 高	20,100	20,050	50	0.2
営 業 利 益	1,050	1,050	—	—
経 常 利 益	800	800	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	550	550	—	—

個 別

(億円、%)

	今 回	4月公表	増 減	増減率
売 上 高	18,700	18,650	50	0.3
営 業 利 益	850	850	—	—
経 常 利 益	550	550	—	—
当 期 純 利 益	400	400	—	—

(参考) 主要諸元表

	今 回	4月公表	増 減
販売電力量	725億kWh	730億kWh	△ 5億kWh
原油 CIF 価格	70\$/b	65\$/b	5\$/b
為替レート	110円/\$	110円/\$	—
原子力[送電端] (設備利用率)	285億kWh 72.4%	289億kWh 73.4%	△ 4億kWh △ 1.0%

以 上



「快適で、そして環境にやさしい」
そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。
それが、私たち九電グループの思いです。